

鵯、郭璞曰雅鳥也、小而多群、腹下白、江東亦呼爲鵯鳥、源順亦載之、是似本邦之鵯鳥也、詩話卑居即鵯也、李時珍亦曰鵯、鵯、鵯也、又曰似慈鳥而大嘴、腹下白、不反哺者雅鳥也、必大按從郭說則似今之鵯、從李說則鳥、俱是難決、大抵鵯亦邇鳥類、今暫據本邦古來之傳稱也、

〔和漢三才圖會林禽四十三〕鵯音卑 和名比衣止里 俗云比與土里

按鵯形似鸚鵡而尾長、略中其聲如言奇異奇異、好食草木子、川棟、南天、鵯上、戸草等、子赤者特好食之、○中略 凡草木種蒔難

生者、采其實、令鵯啄之、取全出於糞中、子、蒔則無不生也、鵯性黠、不羈糲、糲、ハコ適著、撥則倒、絕下、俟稿離去、如中罟網亦逃去、故不用常罟、別作小罟、設撥下捕之、其罟如深囊、謂之鵯網、

〔喚子鳥上〕ひよ鳥 ゑがひ 生五分、あをみ入、粉壹匁

大きな鳩にちいさく、毛色あをぐろく青し、さるづり大をん、子がいよく、物まねをさへづる、

〔百千鳥上〕鳥鵯 餌がいハヤ五分、青味入、

大き和の鴨にほぞ小ぶり也、鳥の風常のひよ鳥にかはることなし、聲もまたひよ鳥に同じ、能物真似を囀、諸鳥の聲を真似る物にて面白きもの也、毛色世に知ることし略之、むかしより三歳より巢に掛るといへ共、二歳にても随分子をなす物也、能鳥有時は、巢年々多く子出来る物なれども、とかく巢くせ有てよき鳥まれなり、三番子迄能出来る也、玉子は十三日にてかへる、子かへると直に蜘蛛を飼ふなり、十日め又は子のつよきは、九日にても取てよし、よわきは十一日もおくべし、生つよき鳥にて子も飼立よし、世せうにてはみな四月になり、庭籠へ放すなり、右之通するもよけれども、兎角冬も庭籠へはなし置事よし、四月はじめごろ盛の見ゆる時、庭籠よりとりて小籠に入、六七日も置、又庭籠へはなすべし、庭籠はせまくても随分よし、世上ともにしまの庭籠は大きく作といへども、さのみそれ程廣にも限らず、三尺に奥行壹間あればよし、廣きはいかほどにてもあしき事はなし、留木はあまり多く打は悪し、能舞物なれば、かけ障りのなきやうに留